



# ベトナム高速道路公社 南北高速道路建設計画 Package J3フックイン橋建設工事

三井住友建設株式会社 国際支店 J3工区作業所長

**澤田 修**  
Osamu Sawata

## ベトナム社会主義共和国 ホーチミン市の紹介

当フックイン橋工事場所であるホーチミン市は首都ハノイ市から南に飛行機で約二時間に位置する、ベトナム第二の大都市である。北のハノイとは趣き・風土が異なり南国情緒溢れる雰囲気になったされ、近年は日本人を含め訪問する外国人観光客も増加している。

ホーチミンで目をみはるのは、インフラ整備事業および不動産・商業関連事業の大規模な展開である。市内中心部で当社もODA案件の地下鉄工事を施工中であるが、多くのインフラ工事が行われ、郊外では民間の大規模コンドミニアム建築工事が盛んに行われている。また昨年は日系大手百貨店が市中心部にオープンし、大型商業施設は連日多くの人で賑わっている。

ホーチミンはベトナム各地からの人口集中により現在の人口は八〇〇万人に迫る勢いで、朝夕の通勤時間帯は車とバイクにより混沌とした渋滞がいたるところで発生している。ベトナム全体の国民平均年齢は約三二歳（二〇一六年）と非常に若く、経済発展著しい「勢い」をホーチミンにも見ることが出来る。

## 工事概要

四〇㊦で、橋桁は全幅約三〇㊦（車道はその内約二〇㊦）のエッジガーダータイプである。アプローチ橋は両岸とも橋長八五二㊦、全幅約二二㊦の二径間連続PCラーメン橋である。また東側アプローチ橋の東部は更に橋長約六八〇㊦の一七径間連続スパーT桁橋および約二〇㊦の土工区間で構成されている。

主橋の基礎構造は約一四㊦×四四㊦の小判型の鋼管矢板基礎である。鋼管矢板基礎構造はベトナム国内において当社三橋目の施工であり、蓄積した経験・技術を活かし、直径一・五㊦・長さ六五㊦の鋼管矢板一三六本を約二カ月で打込み・閉合した。



鋼管矢板基礎工事



H型タイプ主塔

象徴的な構造物となる主塔にはH型タイプが採用されており、主塔部での斜材定着はサドルによる貫通固定方式が採用されている。斜材は全一四段で、ケーブルは亜鉛メッキとグリソおよびポリエチレン被覆による三重防食構造となっている。

当工事において「鍵」となる工種の取組みは、今まで当社がベトナムで施工してきた工事同様に「計画・試験施工・実証検証・本工事施工」というフローを基本としている。例を挙げると、長距離のコンクリート圧送、台形型の上土工主桁施工、橋脚プレファブ鉄筋の一括架設等の施工においてまず試験施工を実施する。その上で



アプローチ橋

当工事はベトナム南北高速道路建設工事の一環で、ホーチミン都市圏南部を東西に結ぶベンルックロロンタイン間に位置し、ロンタウ川を跨ぐ主橋工事および両岸部のアプローチ橋を含んだ橋梁・道路工事である。工事総延長は約三・二キロメートルに及び、契約工期は四二カ月である。また、日本政府のSTEP円借款案件として実施されている。

主橋は三径間連続PC斜張橋で橋長五九九㊦、中央支間長三〇〇㊦、主塔高さは水面から約一

試験結果に基づき改良・改善を図り本工事における円滑な施工を保つことが重要と考えている。当工事は現在も進行中で、主塔・橋脚工事は、一本目の鋼管矢板打込み開始から約二四カ月を経て、順調に主塔の最終コンクリート打設を完了させた。

## ベトナムにおける当社の施工実績

当社はホーチミンの当工事・地下鉄工事の他にも、ハノイにてニヤタン橋、ハノイ環状線、フエン港アクセス道路建設工事他の過去に多くの施工実績があり、現在も本工事を含み四カ所の現場が同時並行で稼働中である。

過去の工事を経験したローカルスタッフが、その経験を活かし、また途切れることなく当工事へ参加出来たことは人材開発面・教育面でも非常に有効であり、その結果として品質・安全管理面でも大きなメリットがあると言える。現場はこれから斜張橋の張出し施工という第二のステージを迎える段階にきている。この経験豊富なスタッフ全員でベトナムでの現場スローガンである「ニヤン・デップ・アントアン」＝「SAFE・BEAUTY・SAFETY」のもと、無事故・無災害かつ高品質で工事完成を目指す考えである。